

介護人材確保・定着・育成について

1 現状と課題

全国的に高齢化が進む中、介護を担う人材の不足が課題となっています。国によれば、団塊の世代が後期高齢者となる 2025 年には、約 38 万人の介護人材の不足が生じると推計しており、継続的な取り組みが必要です。

本市においても、平成 27 年度に実施した介護事業者調査では、「人材が集まらない」と感じている事業者は 81%に上り、人材の確保が大きな課題となっています。また、「職員の離職が多い」としている事業者も 52%に上っており、人材の定着や育成についても課題となっています。

本市では、これまでも介護人材の確保・育成の取り組みを進めてきましたが、本市の高齢化率は今後も上昇が見込まれ（平成 29 年 5 月末現在 25.8%）、介護需要がさらに拡大することが想定されることから、介護人材のさらなる確保と質の向上が必要になります。これまでの取り組みを強化するほか、介護人材の確保・定着・育成を総合的に推進していくことが求められています。

※冊子掲載時には直近のデータに差し替えます。

《介護人材確保・定着・育成における課題》

- 求める人材や必要な能力・資格を持った人材の応募が少ない
- 業務に対する社会的評価が低い
- 有資格者・無資格者等の役割が混在している状況や評価制度等が整っていないため、
将来展望・キャリアパスが見えづらい
- 身体的・精神的に負担が大きいなど、労働環境が整っていない
- 仕事内容のわりに賃金が低い

【第 6 期計画での具体的な取り組み例】

（第 6 期計画 3-2②介護人材の育成・確保 掲載事業）

88 介護人材の育成・確保に向けた取り組み（サービス提供責任者スキルアップ研修の開催、
介護人材定着支援研修及び介護人材確保・育成支援研修の開催）

89 介護人材の育成・確保に向けた調査・研究（介護事業所アンケート調査の実施、
介護のしごと魅力発見講座の開催）

90 介護人材の確保・定着支援（派遣事業の実施）

（第 6 期計画 3-2②介護人材の育成・確保関連施策 掲載事業）

71 在宅医療・介護連携に関する介護支援専門員向け研修の充実

85 介護支援専門員への研修の実施

（その他関連施策）

20 「八王子しごと情報館」の運営

32 高齢者虐待防止に向けた普及啓発と人材育成

86 ケアマネジャーガイドラインの充実

【第 6 期計画策定後に開始した具体的な取り組み例】

- 介護人材の確保に向けた取り組み（介護スタッフ入門講座、生活支援ヘルパー養成研修）
- 介護人材の定着に向けた取り組み（介護ロボット導入支援）

2 第7期計画における推進の視点

本市では、不足する介護人材の確保にあたっては、人材の新規参入を促す「確保」、介護職に就いた人材が長く働けるよう支援する「定着」、そして介護人材の質の向上を図る「育成」の3つの側面から総合的に取り組むことが重要と考えています。

介護職員のスキルアップや働きやすい環境づくりのさらなる促進のため、市民や事業者へ国や都の取り組みに関する情報を提供するとともに、以下の3つの視点に基づき、取り組みを推進します。

(1) 介護人材の確保

不足する介護人材を確保するため、介護の仕事の魅力向上を図るなど人材の新規参入の促進、潜在有資格者の掘り起しを推進します。

【第7期計画での取り組み案】

89 介護のしごと魅力発見講座 <<継続>>

■ 介護スタッフ入門講座 <<継続>>

■ 生活支援ヘルパー養成研修 <<継続>>

◇ 再就職者向け研修 <<新規>>

◇ 就職相談会 <<新規>>

◇ 採用担当者向けセミナー <<新規>>

◇ 資格取得支援 <<新規>>

など

(2) 介護人材の定着

介護職に就いた人材が長く働くことができるよう、介護職のキャリアアップ確立の支援や働きやすい環境づくりなど事業者への支援を推進します。

【第7期計画での取り組み案】

■ 介護ロボット導入支援（国・都事業） <<継続>>

◇ キャリアデザイン研修 <<新規>>

◇ 「働きやすい事業所」の公表（都事業） <<新規>>

◇ 管理職向けマネジメント研修 <<新規>>

など

(3) 介護人材の育成

拡大する介護需要に対応し、質の高い介護サービスを安定的に提供できるようにするため、介護を担う人材のスキルアップを促進します。

【第7期計画での取り組み案】

88 サービス提供責任者スキルアップ研修 <<継続>>

85 介護支援専門員向け研修 <<継続>>

◇ 資格取得支援 <<新規>>

など